

山彦
YAMAHIKO

Musical
Instrument
Pickup Systems
by Sonaresearch



CPS-BG1 型
Body Pickup for Guitar 取り扱い説明書

Ver. 1.0C-web

！ご注意！

ギターはデリケートな楽器ですのでダメージを与えないよう十分ご注意の上、使用者の責任においてこのピックアップをご使用下さい。このピックアップを使用することによって生じた損害に関しては、製造者、販売者は一切責任を負いません。

！使用禁止事項！

このピックアップは最大 2.5Kgwの力をギターの表板と裏板に与える可能性があります。

2.5Kgwの力に耐えられない（壊れる可能性がある）ギターには取り付けないでください。

ギターの表面に塗布された塗料の硬化が不完全な場合や、塗料の密着力が低く容易に剥がれる可能性がある場合など、このピックアップの取り付けにより塗装の変形、変質の可能性がある場合はこのピックアップを使用しないでください。

演奏しないときはピックアップをギターから取り外してください。ギターの変形、塗装の変質の原因となる場合があります。

目 次

ご注意	1
使用禁止事項	1
目次	2
はじめに	3
各部の名称	4
ギターへの取り付け手順	5
1.ピックアップをケースから取り出す	5
2.信号ケーブルの巻きを戻す	6
3.コンタクトとバックアームの掃除	7
4.ギターにピックアップを仮固定	8
5.ピックアップの位置を調整	9
6.ピックアップを固定	11
7.シールドの接続	13
8.アンプなどとの接続	15
ピックアップの取り外し	16
1.ピックアップをギターから取り外す	16
2.信号ケーブルを巻きつける	17
3.ケースに収納	18

はじめに



- 3 -

このピックアップはギターの本ディーに伝わる振動をピックアップして出力します。

左の写真のようにギターの表板と裏板を挟むようにピックアップを取り付けます。

ギターの周囲ならどこにでも取り付けることができますが、取り付ける場所によってピックアップされる音質も異なります。

お好みによってより良い音を得られる取り付け場所をお選びください。

最初は左の写真の位置にピックアップを取り付けてピックアップ音を聴いてみて下さい。

各部の名称

トップアーム

バネの力で少し傾いた状態
になっています。

コンタクト

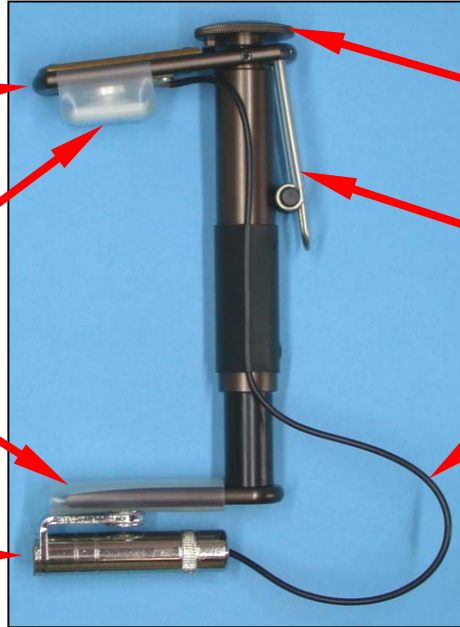
ここでギターの表板の振動
を捉えて音を取ります。

バックアーム

ギターの裏板に接する部分
です。

出力ジャック

ピックアップ信号を出力す
る1/4インチフォンジャ
ックです。



伸縮ノブ

まわすとピックアップ
が伸縮します。

バネ

コンタクトをギターの
表板に押し付けます。

信号ケーブル

ピックアップ信号をジ
ャックに送ります。

ギターへの取り付け手順

ピックアップをギターに取り付ける手順を順を追って説明します。

1. ピックアップをケースから取り出します。



ピックアップは左の写真のようにケースに収納されています。

ピックアップ収納時は信号ケーブルが巻かれています。次の手順で巻きを戻して使用します。

2 . 下の写真の手順で信号ケーブルの巻きを戻してください。



出力ジャックを回転させて巻きを戻します

収納時の状態

使用時の状態

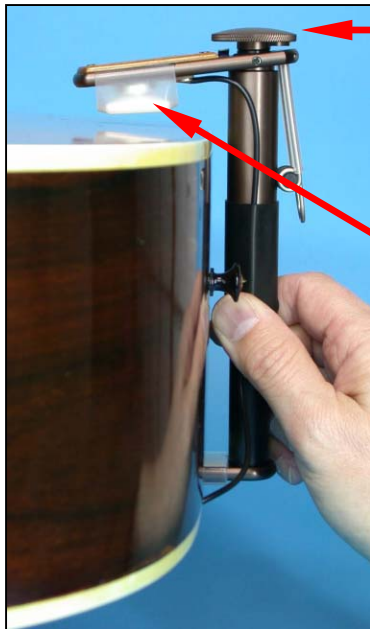
3 . コンタクトとバックアームのゴムを掃除します。



！注意！

このゴムがギターに接するので、ゴミ、特に砂粒などのような硬いものが着いていると、ギターにキズがついてしまいます。異物が無いように綺麗に掃除します。ガムテープなどの粘着テープでゴミを取るのも良いでしょう。

4 . ギターにピックアップを仮固定します。



伸縮ノブを左に回し、ピックアップを伸ばしてギターの厚さより少し広めにします。

そしてギターにかませます。

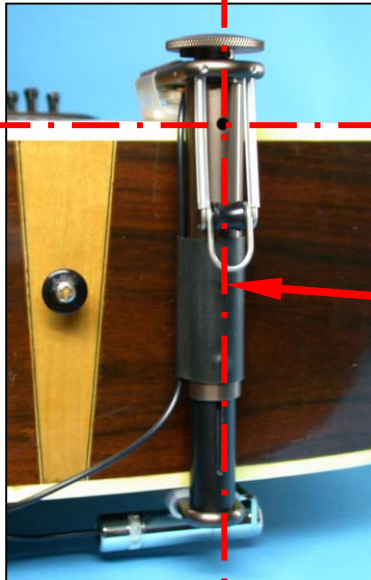
伸縮ノブを右に回し、コンタクトとバックアームのゴムがギターにそっと触ったところでノブを止めます。

このコンタクトで振動をピックアップしますので、コンタクトを狙った位置に設置します。

ポイント

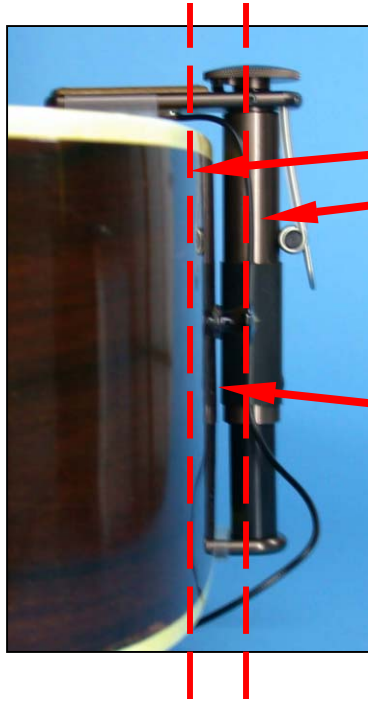
この後でピックアップの姿勢を調整するので、ピックアップが簡単に動く程度に仮止めします。

5 . ピックアップの位置を調整します。



ピックアップとギターの位置関係を2つの方向から見て、良い位置に調整します。

表板の面に対して、
ピックアップ本体を
直角にします。

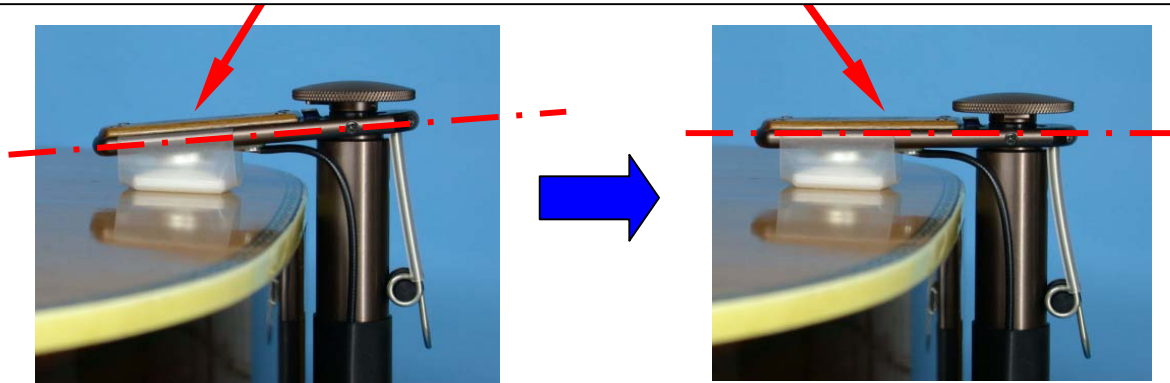


ギター側板に対して、
ピックアップ本体を
平行にします。

ピックアップのパイプ部分が
ギターの側板に
触れないようにします。

6 . ピックアップを固定します。

ノブをゆっくり右に回してください。締めるにしたがいアームが起き上がり、適切な位置でノブがストッパに当たり止まります。このとき約 2Kg の力がギターに加わります。ストッパに当たる前で締めるのをやめても使用できます。



**ノブがストッパに当たって止まったら、そこから約90度ほど、ノブを左回して戻します。
ノブが止まったままでは、ビリツキノイズが出る恐れがあります。必ずノブを戻してください。**

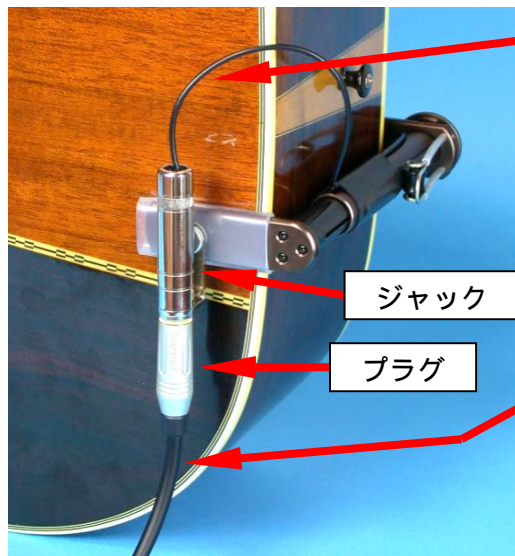
ノブの締め付け具合について

ノブがストッパーに当たって止まるまで締めて使用することもできますが、ノブの締め付け具合、つまりピックアップのコンタクトがギターの表板を押し力の大小によってピックアップされる音色も変化する場合があります。ピックアップされた音を聴きながら良い音になるよう調整してください。

ただし、ノブを緩めすぎるとピックアップがズれる可能性があるので、シールドを出力ジャックに接続した状態でピックアップがズれないか確認してください。

7 . シールドの接続

- 13 -



信号ケーブルがピックアップ本体に巻きつかないようにしてください。

ジャックにシールドケーブルを接続するときは、ピックアップがズレないように、ジャックを手で押さえてプラグを差し込んでください。

プラグを外するときもジャックを押さえながらプラグを引き抜いてください。

ジャックに接続するシールドケーブルはなるべく軽いものを使用してください。重たいケーブルを使用すると、演奏中にピックアップの位置がズれる原因となる可能性があります。



スイングジャック

このピックアップの出力ジャックは自由に回転してシールドで引っ張られる方向に向きます。これは、ピックアップ本体がシールドに引っ張られて、位置がずれるのを防ぐためです。

8. アンプなどとの接続

本ピックアップは圧電式（ピエゾ式）です。入力インピーダンスの高いアンプに接続しないと、低音がカットされ音質が変わってしまう場合があります。

ギターアンプに接続する場合

PIEZO（ピエゾ）対応の入力を持つアンプを使用する。

プリアンプを経由してアンプに接続する

本ピックアップを PIEZO（ピエゾ）ピックアップに対応したプリアンプに接続し、プリアンプの出力をギターアンプなどに接続する。

ダイレクトボックス（DI）を使用して PA 機材に接続する。

入力インピーダンスが 4.7Mohm 以上のダイレクトボックスの使用をお薦めしています。ダイレクトボックスにも入力インピーダンスが低い物がありますので、必ず入力インピーダンスを確認してご使用下さい。

ピックアップの取り外し

1. ピックアップをギターから取り外します。



ノブを左に回してピックアップを外しますが、コンタクトのゴムが表板に密着することがあります。

左の写真のようにコンタクトを包んでいるゴムをやさしく指で挟んで、ゆっくり剥がしてください。

ゴムには粘着材等はありませんが、密着して吸盤のように吸着する場合があります。弱い力でそっと引っ張ると、隙間に空気が入って行き徐々に剥がれます。

強い力で引っ張らないで下さい。

2. 下の写真のように信号ケーブルを巻きつけてください。



出力ジャックを回転させて信号ケーブルを巻きます

使用時の状態

この状態で収納します

3 . ケースに収納します。





Copyright (c) Sonaresearch co.,ltd. 2010 All rights Reserved.
U.S. Pat. No.7,446,255 Japan Pat. No.4369847

有限会社ソナリサーチ
〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台6-3-2-306
TEL 0466-42-6053 FAX 0466-42-6054
<http://www.yamahiko.info>
e-mail: cs@yamahiko.info